

中学校 特別活動 部会

部会長名 赤 中学校 校長 重藤 公暢

実践者名 池尻中学校 2 学年教職員集団

執筆者名 池尻中学校 教諭 池上 敏文

1 研究主題

仲間とともに切り拓いていく進路学習の取り組み

～人間関係づくりの視点を取り入れた指導の工夫を通して～

2 主題設定の理由

(1) 社会の要請から

今日の貧困や格差社会の世の中において、子どもやその親は将来に対する展望を描きにくい状況にある。子どもたちの中には進学を断念したり、中途退学、引きこもり、ニートなどの道に進む者も少なくない。また、いったん社会人となっても非正規雇用やブラック企業などの深刻な事態に直面する者も多くいるなど社会問題化している。そのような中、1人で悩まず、だれかに相談したり、よりよい解決方法を見いだせるように、人と人同士がつながり、ともに支え合って生きていける世の中であってほしいと願う気持ちはだれもが持っていると考ええる。

(2) 学校教育目標から

近年、いじめ、不登校などが社会問題としてクローズアップされ、学校教育において「人間関係づくり」という視点が重要視され始めているのは、必然であると言える。中でも特別活動は、その本来の趣旨から最も取り組みの中核となり得る。学級活動、生徒会活動、学校行事などの取り組みの中に「人間関係づくり」の視点を取り入れていくことは大変意義深い。

(3) 生徒の実態から

本校の生徒は、元気よく素直で、与えられた課題にはきちんと取り組むことができる。しかしながら、みんなの前で自分の考えをきちんと述べたり、相手の意見をしっかりと聞いたりすることが苦手な生徒が多い。また、苦手なことやめんどろなことを避ける傾向があり、学力やセルフイメージの低下にもつながっている。このような生徒たちに、さまざまな場面で意図的に互いを交流させたり、協力して物事を成し遂げる喜びを味わわせたりすることが、仲間とともに自分の進路を切り拓く力をつけることにつながると考える。

3 主題の意味

① 「仲間とともに切り拓いていく進路学習」とは

お互いの意見や考えを尊重し、学び合い励まし合いながら、みんなで進路実現を目指す学習である。

② 「人間関係づくりの視点を取り入れた指導の工夫」とは

さまざまな取り組みにおいて、意図的に「協力的・参加的」な手法を工夫し、生徒同士の望ましい人間関係の構築を目指す指導である。

4 研究の目標

人間関係づくりの視点を取り入れるにあたっては、さまざまな指導方法があると考えられるが、ここでは「協力的・参加的」な手法を試みることにより、生徒同士が自他を尊重し合い、勇気づけられ、生きる力がわいてくるような取り組みを目指す。

5 研究仮説

特別活動の取り組みにおいて、「協力的・参加的」な指導方法の工夫を行えば、生徒同士が自他を尊重し合い、勇気づけられ、生きる力がわいてくるであろう。

6 研究の計画

(1) 単元「高校調べ発表会」

(2) 単元の目標及び指導計画

- 進路に関して調べたりまとめたりしたことを、グループ内で協力して発表することで、「協力的・参加的」に課題解決に取り組む技能を育てる。
- 他のグループの発表を聞き、意見を交流することで、お互いの意見を尊重し合いながら進路について考えることができるようにする。

2年生	特別活動	関連する総合的な学習	関連する道徳
9月	高校調べ発表会(1) ・・・本時	高校調べ(6) 高校出前授業(6)	
10月		修学旅行自主研修コース決め(6)	「京都の自然・文化・歴史」
11月	修学旅行(2泊3日) 修学旅行新聞づくり(4)		
12月	生徒会役員選挙にむけて(1)		
1月	自分や友だちの良さを見つけよう(2)	適性と進路(6)	「六千人の命のビザ」 「世界の果ての通学路」 「大人ってすごい～14歳の職場体験」

7 指導の実際

学 習 活 動	指導上の留意点	配 時
1 これまでの学習内容を振り返り、本時の学習内容を確認する。	○出前授業の様子をスライドで見せ、学習の雰囲気高める。	10分
2 調べたことを交流し合う。 (1)グループごとに模造紙にまとめたものを前面黒板に掲示し、発表する。 ①直方高等学校 ②大和青藍高等学校 ③嘉穂高等学校 ④田川科学技術高等学校 ⑤田川高等学校 ⑥福智高等学校 ⑦嘉穂東高等学校 ⑧飯塚高等学校 ⑨東鷹高等学校 ⑩西田川高等学校 ⑪鞍手高等学校 ⑫近畿大学附属福岡高等学校 (2)メモをとりながら発表を聞き、分からない点を質問する。	○学級委員が司会進行をし、全員に主体的な参加や協力を促す。 ○「発表の手順」に沿って手際よく行わせる。(各グループ3分以内、準備・質問・片付けの時間も含む。) ○発表原稿をもとに全員が発言できるようにする。 ○ワークシートに記入させる。	36分
3 教師のまとめを聞く。 4 本時の授業を振り返り、感想をまとめる。	○これまでの取り組みを評価し、今後の学校生活をどう過ごすべきか示唆する。 ○ワークシートに記入、提出させる。	4分



【写真 1 高校調べ発表会の生徒の様子】

- 緊張したけどうまくできました。他の班もわかりやすく発表していました。
- 今日すごく心配していたけどよくできたからよかったと思いました。
- 特色や教育課程などたくさん種類があつていいと思った。
- 写真などたくさんあつていいと思った。
- 聞き取りやすい。字が大きくてみやすい。
- 声が大きくて説明が上手だった。
- いろいろなところへ進学できるとわかった。
- 学科・コースは他校にないものもある。野球は甲子園など行っている。
- 自分が調べていない他の高校もわかった。
- 出前授業にも来ていただいたし、もっとパティシエのことを学ぼうと思った。

【資料 1 発表会後の生徒の感想】

9 成果と今後の課題

(1) 成果

- 仲間と協力して発表に取り組むことで、自分に自信がつきセルフイメージを高めることができた。
- 仲間の発表を聞き、さまざまな高校について知ることができ、自分の将来の夢や希望進路の参考とすることができた。
- 司会進行を生徒が行うことで、全員の協力的・参加的な活動意欲を喚起することができた。
- 保護者にも参観してもらうことで、子どもたちの成長した姿や進路に関する情報を伝えることができた。

(2) 今後の課題

- 活動に消極的な生徒や、発表が苦手な生徒が、もっと自信をもって参加できるように、今後もこのような活動を継続して取り組むと同時に、朝の会・帰りの会などの日常の取り組みの中で習慣化を図る。
- 特別活動と総合的な学習や道徳との関連性を図りながら、取り組みの充実を図る。

◎ 参考文献

- 「中学校学習指導要領解説 特別活動編」 (文部科学省)
- 「人権教育の指導方法等の在り方について [第3次とりまとめ]」 (文部科学省)
- 「人権教育指導者用手引きⅡ」 (福岡県教育委員会)